

柴田町学校等施設の個別計画

平成31年3月

柴田町教育委員会

【 目 次 】

【1】 学校等施設の長寿命化計画の背景・目的等	P 1 ~ 2
(1) 背 景	
(2) 目 的	
(3) 計画期間	
(4) 対象施設	
【2】 幼稚園・学校・給食センター施設の目指すべき姿	P 2 ~ 3
(1) 幼児教育環境の整備	
(2) 学校教育環境の整備	
(3) 給食センターの整備	
【3】 学校等施設の現状	P 4 ~ 5
(1) 学校等施設の運営状況・活用状況等の実態	
【4】 学校等施設整備に係るの基本的な考え方等	P 6 ~ 8
(1) 学校等施設の配置計画等に係る基本方針	
(2) 改修等に係る基本的な方針	
(3) 学校等施設の長寿命化計画に係る基本方針	
(4) 基本方針等を踏まえた施設整備の水準等	
【5】 長寿命化等の実施計画	P 9 ~ 15
(1) 詳細診断における評価の方法	
(2) 今後の維持更新コストの把握	
(3) 直近5年間における個別施設の整備計画	
(4) 長寿命化によるコスト及び効果の見通し	
【6】 長寿命化等計画の実施	P 16
(1) 情報基盤の整備と活用	
(2) 推進体制等の整備	
(3) フォローアップの実施	

【1】学校等施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

柴田町の教育施設は、小・中学校（9校）、第一幼稚園及び学校給食センター（以下「学校等施設」という。）が設置されております。施設の多くが、昭和40年代から昭和60年代に急激な人口増加に伴う児童生徒数の増加にあわせて集中整備されており、建築後20年から40年経過した建築物が多くなっています。これにより、本町が保有する建築物の延べ床面積の内訳では、学校教育系施設面積が最も多い38%以上を有しています。

近年では建築30年を超える学校が増え、老朽化が進み施設整備が喫緊の課題となっており、高度経済成長期に集中整備された学校施設については、今後、大規模改修に多額の費用が必要となると思われます。

文部科学省の資料によると、学校施設はこれまで平均、築42年で建替えられてきましたが、今後はこれを長寿命化しつつ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図り、学校等施設に求められる機能を確保することが求められています。

また、学校等施設の整備にあたっては、単に劣化した建築物や設備を竣工時の状態に戻すだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げ、安心・安全な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティの拠点形成を目指して再生を行うことも求められています。

(2) 目的

「柴田町学校等施設の個別施設計画（以下「本計画」という。）」は、上記の背景を踏まえて学校等施設を総合的観点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修するとともに、教育環境の質的改善も考慮しながら改修を検討するための詳細診断の優先順位を設定しつつ、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定します。

なお、本計画は柴田町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）に基づく学校等施設の個別施設計画として位置づけるとともに施設整備計画は本計画に基づき策定していくこととします。

対象施設は、柴田町が保有する学校施設（小学校、中学校）、第一幼稚園及び給食センターを対象とします。

(3) 計画期間

平成31年度から平成70年度までの40年間を整備保全計画期間とする。また、実施にあたっては、この期間内でも児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度など

の動向により、柔軟に計画を見直すこととします。本計画にあたっては、5年ごとに見直します。

(4) 対象施設

対 象 施 設			
小学校	6 校	柴田町立船岡小学校	柴田町船岡東 1 丁目 2-60
		柴田町立槻木小学校	柴田町槻木駅西 2 丁目 14-1
		柴田町立柴田小学校	柴田町大字葉赤字鍛冶内 30
		柴田町立船迫小学校	柴田町西船迫 3 丁目 1-3
		柴田町立西住小学校	柴田町大字船岡字大住町 16-1
		柴田町立東船岡小学校	柴田町大字上名生字下中川 93-1
中学校	3 校	柴田町立船岡中学校	柴田町大字船岡字七作 26
		柴田町立槻木中学校	柴田町槻木東 2 丁目 3-1
		柴田町立船迫中学校	柴田町西船迫 4 丁目 1-2
幼稚園	1 園	柴田町立第一幼稚園	柴田町船岡東 1 丁目 2-60
給食センター	1 センター	柴田町立学校給食センター	柴田町西船迫 1 丁目 1-12

【2】幼稚園・学校・給食センター施設の目指すべき姿

(1) 幼児教育環境の整備

幼児教育では、幼児期が生涯にわたる人間形成の基礎が培われる大切な時期であることから、多様なニーズに対応した幼児教育の充実を図り、子どもの豊かな感性を養うとともに、学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探究心を育むための環境を整備します。また、第一幼稚園は、築30年が経過したことによる施設の老朽化や今後

予想される少子化による園児の減少等を踏まえ、幼稚園施設整備については、ニーズに応じた将来的用途も含めて施設整備を進めます。

(2) 学校教育環境の整備

① 学習空間の充実

児童・生徒の一人ひとりの教育的ニーズに応じ、きめ細かな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的な知識・技能を確実に習得させるため、教員、特別支援教育支援員等による少人数授業など多様な学習展開に対応する施設整備を進めます。また、グローバル社会に対応した教育の推進（英語力、コミュニケーション力等の育成）や ICT を活用した授業の推進のための環境を整備します。

② 生活空間の充実

児童・生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、各学校におけるエアコンの設置、トイレの洋式化等、学習環境の整備を促進します。また、防犯や施設の安全など安全性に配慮した施設整備を図ると共に、障害の有無に関わらず安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化を進めます。

③ 地域との連携の充実

家庭、地域とのネットワークを形成し、学校教育活動を支えるPTA、放課後学習サポートボランティア等の活動の場として位置づけます。また、児童の放課後の居場所、地域の生涯学習の場として学校を利用し、さらに、地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として整備を進めます。

(3) 給食センターの整備

児童・生徒に安全・安心でおいしい給食を提供し衛生的な管理を行うために、施設の修繕や調理機器等の適正な更新及び維持管理を推進します。また、給食センターは、築35年以上が経過されていることから、現在の基準に応じた新学校給食センターの建設に向け、建設場所、建設手法等の調査検討を行います。

【3】 学校教育施設の現状

(1) 学校教育施設の運営状況・活用状況等の実態（児童生徒数及び学級数の推移）

① 小学校の児童数推移（平成30年5月1日現在）

単位（人）

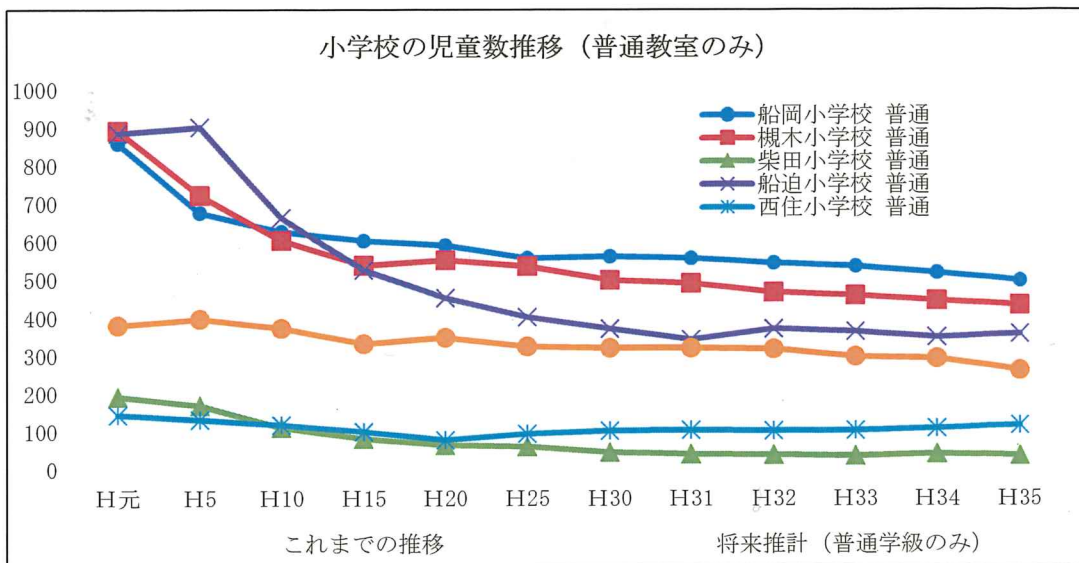
		これまでの推移							将来推計（普通学級のみ）				
		H元	H5	H10	H15	H20	H25	H30	H31	H32	H33	H34	H35
船岡小学校	普通	860	678	628	604	592	558	563	558	546	537	520	499
	特支	4	2	4	4	9	18	17	17	-	-	-	-
槻木小学校	普通	894	723	605	539	553	537	500	492	468	460	446	435
	特支	5	0	5	4	7	6	9	11	-	-	-	-
柴田小学校	普通	193	170	112	83	66	62	46	41	40	37	42	38
	特支	0	0	0	0	0	3	0	0	-	-	-	-
船迫小学校	普通	886	903	665	527	454	403	372	344	372	365	350	359
	特支	12	5	6	3	3	9	10	10	-	-	-	-
西住小学校	普通	145	133	119	101	79	95	103	105	103	104	110	118
	特支	0	0	2	0	2	1	2	3	-	-	-	-
東船岡小学校	普通	381	398	374	333	349	326	322	322	319	299	294	263
	特支	2	1	1	3	7	5	6	3	-	-	-	-
合計		3,382	3,013	2,521	2,201	2,121	2,023	1,950	1,906	1,848	1,802	1,762	1,712

② 小学校の学級数推移

※普通学級数のみ（平成30年5月1日現在）

学級数

	これまでの推移（普通学級のみ）							将来推計（普通学級のみ）				
	H元	H5	H10	H15	H20	H25	H30	H31	H32	H33	H34	H35
船岡小学校	24	21	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18
槻木小学校	23	22	18	17	18	17	17	17	17	17	17	16
柴田小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
船迫小学校	24	26	20	16	13	12	13	13	14	13	12	12
西住小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
東船岡小学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11
合計	95	93	80	76	74	71	72	72	73	72	70	69



平成25年以降、横ばい状態が続いております。しかし、今後は人口減少、少子化の影響による児童数の減少は予想されますが、急激に減少することはないと推測されます。このことにより、すべての学校の学級数においても、現在の学級数が維持されていくものと推測されます。

③ 中学校の生徒数推移 (平成30年5月1日現在)

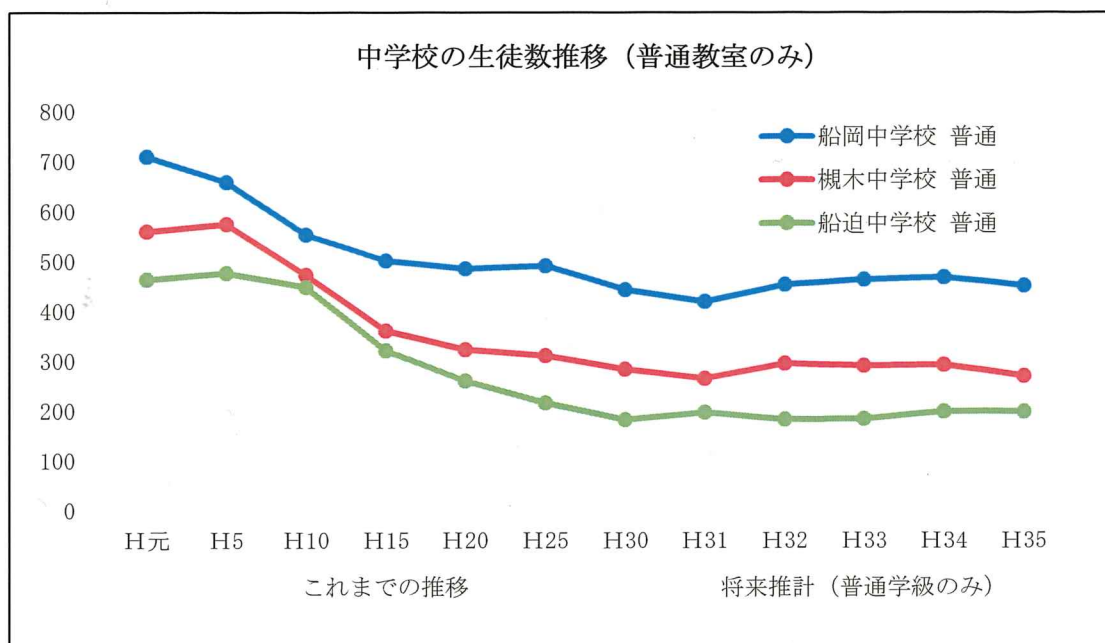
単位 (人)

		これまでの推移							将来推計 (普通学級のみ)				
		H元	H5	H10	H15	H20	H25	H30	H31	H32	H33	H34	H35
船岡中学校	普通	710	659	554	502	486	492	444	420	454	464	469	452
	特支	0	4	2	2	8	9	8	9	—	—	—	—
槻木中学校	普通	560	575	473	362	324	312	284	266	296	291	293	271
	特支	1	4	3	3	3	4	5	4	—	—	—	—
船迫中学校	普通	464	477	449	322	261	217	183	198	184	185	200	200
	特支	3	0	2	4	9	2	5	4	—	—	—	—
合計		1,738	1,719	1,483	1,195	1,091	1,036	929	901	934	940	962	923

④ 中学校の学級数推移 ※普通学級数のみ (平成30年5月1日現在)

(学級数)

		これまでの推移							将来推計 (普通学級のみ)				
		H元	H5	H10	H15	H20	H25	H30	H31	H32	H33	H34	H35
船岡中学校		18	18	15	14	14	15	14	14	15	14	14	14
槻木中学校		15	16	13	11	9	10	8	8	10	9	9	9
船迫中学校		12	13	12	9	9	6	6	6	6	6	7	7
合計		45	47	40	34	32	31	28	28	31	29	30	30



町内3中学校(船岡中学校、槻木中学校、船迫中学校)においては、西住地区の小学生の大半が大河原中学校に通うこと以外は町内の公立中学校(指定校)に通っております。

今後は人口減少、少子化の影響による児童数の減少は予想されますが、急激に減少することはないと推測されます。このことにより、すべての学校の学級数においても、現在の学級数が維持されていくものと推測されます。

【4】 学校等施設整備に係る基本的な考え方等

(1) 学校等施設の配置計画等に係る基本方針

① 学校施設

柴田町の学校施設は、船岡・槻木・船迫の3つの地域に船岡中学校、槻木中学校、船迫中学校が設置されています。小学校は、船岡中学校地区に船岡小学校、東船岡小学校の2校、槻木中学校地区に槻木小学校、入間田・葉坂・成田・海老穴地区に小規模ながらの柴田小学校が設置され、船迫中学校地区に船迫小学校が設置されています。その他、柴田町の南西に位置し大河原町と隣接している西住地区に西住小学校が設置されています。なお、西住小学校の児童の大半は指定校の船岡中学校ではなく大河原中学校に通学しています。

このように町内には地域の児童生徒数に応じた学校施設が配置されており、資産経営の中心となる施設用途であることから、原則として現在の配置を維持していきます。

② 幼稚園

幼稚園については、船岡小学校に隣接する第一幼稚園が設置されています。今後の人口減少・少子化に伴う園児の減少と建物の老朽化を鑑み、当面は現施設を活用しながらも将来的には児童施設としての用途も視野に入れ、検討していきます。

③ 給食センター

給食センターについては、平成30年度に施設全体の現状を把握し、総合的な観点で整備、管理運営の適正化を図り、安全安心な給食が提供できるように「学校給食センター修繕計画」を策定しました。この計画に基づき、平成30年度から32年度にかけて、特に重要と思われる部分の改修工事を実施する予定になっております。このようなことから当面は現在の配置を維持していきます。一方で、学校給食衛生管理基準に適合しアレルギー対応食の提供が可能な新たな給食施設の建設に向け調査・検討を進めていきます。

(2) 改修等に係る基本方針

学校等施設は棟数が非常に多いため、長期的なスパンでの改修計画が必要となります。文部科学省では、学校施設の長寿命化のメリット3として「建替えと比較して構造体（柱や梁）の工事が大幅に減少するため、工事費用の縮減や工期の短縮を行うことができる」、「長寿命化改修への転換により、限られた予

算でより多くの施設の安全性を確保しつつ、機能の向上を図ることができ、子どもたちにとって快適で居心地の良い学習・生活の場を確保することができる」、「建替えと比べて廃棄物排出量や二酸化炭素発生量が減少し、大幅に環境負荷が低減する」ことなどを掲げています。本町においても学校等施設の長寿命化によるメリットは大きいと考えられることから詳細診断の結果をもとに、長寿命化改修が可能な学校等施設は長寿命化することとします。

なお、それぞれの棟の立地・意匠・構造・児童生徒数・使われ方等によってコンクリートの中酸化の進行状況は刻々と変化することから、詳細診断の優先順位は設定するものの、実際の長寿命化・建替え等の判断、優先順位の設定は詳細診断の結果を中心に、財政状況や各種補助制度を総合的に勘案して設定するものとします。

(3) 学校等施設の長寿命化計画に係る基本方針

学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成27年4月 文部科学省）では、「適正な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能である」とされています。詳細診断で長寿命化可能と判断された棟については、80年を目標供用期間として設定します。また、長寿命化が困難であると判断された棟については、原則60年を目標供用期間とした対応を行います。

(4) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

柴田町ではこれまでも耐震改修とあわせてトイレ改造、屋上防水・外壁改修を進めるとともに平成31年度には各学校に空調設備を導入するなど、施設水準の維持・向上に努めてきました。また、校舎・体育館等の照明に関しては、LED化への切り替える際、リースの考えも視野に入れる等、今後も時代とともに施設に要求される性能は高まることから、大規模改修や建替え時には優先順位を設定し、効果的に施設水準の向上を図っていきます。

② 維持管理の項目・手法等

柴田町では、平成31年度から町内の小中学校について、特定建築物定期調査（※建築基準法12条点検）を随時実施していき施設の実態を把握していきます。また、電気工作物、消防用設備等の設備保守点検業務は施設毎、これまで同様、毎年実施していきます。その他、点検時の簡易修繕や劣化・修繕必要箇所についても、引き続き、学校関係者や施設担当者による日常点検に加え、

適正な維持管理に努めていきます。

※ 建築基準法の12条点検

不特定多数の人が利用する建築物は、構造の老朽化、避難設備の不備、建築設備の作動不良などが大きな事故や災害を招く恐れがあり、こうした事故等を未然に防ぎ、建築物等の安全性や適法性を確保するために、建築基準法では専門の調査官や検査官により建築物等を定期的に調査・検査することと定めている。

【5】長寿命化等の実施計画

(1) 詳細診断における評価の方法

屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。その他、必要に応じて評価基準を作成し評価する。

① 評価基準

目視による評価【屋根・屋上・外壁】

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

良
劣化

② 経過年数による評価

【内部仕上げ、電気設備、機械設

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

良
劣化

③ 健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定している。

① 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

③ 健全度

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

『劣化状況調査票』記入例における健全度計算例

	評価	評価点	配分		
1 屋根・屋上	C	40	5.1	×	204
2 外壁	D	10	17.2	×	172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	×	1,680
4 電気設備	A	100	8.0	×	800
5 機械設備	C	40	7.3	×	292
計					3,148
					÷ 60
健全度					52

(劣化状況調査票)

通し番号				調査日	
学校名		学校番号		記入者	
建物名				建築年度	年度(年度)
棟番号				階数	地上 階 地下 階
構造種別		延床面積	m ²		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0
/ 100点

建物情報一覧表

：築50年以上

：築30年以上

2018 基準

A：概ね良好 C：広範囲に劣化

B：部分的に劣化 D：早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		耐震安全性	構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考				
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試験上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)			
																								学校種別	建物用途	西暦
1	187	船岡小学校	北校舎	34,35,38		小学校	校舎	RC	3	4,196	1982	S57	新	済	補強	-	-	-	長寿命	A	A	B	A	97		
2	187	船岡小学校	南校舎	37		小学校	校舎	RC	2	2,244	1989	H元	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	A	97		
3	187	船岡小学校	体育館	39		小学校	体育館	S	2	1,274	1992	H4	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	C	C	C	62		
4	184	榎木小学校	低学年棟	1		小学校	校舎	RC	2	2,389	1976	S51	旧	済	-	H12	21	-	長寿命	C	A	C	D	76		
5	184	榎木小学校	高学年棟	2		小学校	校舎	RC	3	2,643	1976	S51	旧	済	-	H28	21	-	長寿命	C	A	C	D	76		
6	184	榎木小学校	管理棟	3		小学校	校舎	RC	1	485	1976	S51	旧	済	-	H12	21	-	長寿命	C	A	C	D	76		
7	184	榎木小学校	体育館	4		小学校	体育館	RC	1	1,193	1976	S51	旧	済	-	H12	21	-	長寿命	C	B	C	C	50		
8	186	柴田小学校	校舎	17		小学校	校舎	RC	2	2,460	1991	H3	新	-	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	C	53		
9	186	柴田小学校	体育館	18		小学校	体育館	S	1	904	1991	H3	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	66		
10	590	船迫小学校	中央校舎	1,2		小学校	校舎	RC	3	3,807	1980	S55	旧	済	-	H28	21	-	長寿命	A	A	C	A	92		
11	590	船迫小学校	南校舎	3		小学校	校舎	RC	2	1,070	1982	S57	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	A	C	A	92		
12	590	船迫小学校	北校舎	12,13		小学校	校舎	RC	2	1,249	1993	H5	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	A	B	C	81		
13	590	船迫小学校	体育館	4		小学校	体育館	S	2	1,137	1982	S57	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	A	C	C	83		
14	607	西住小学校	校舎	1		小学校	校舎	RC	2	2,142	1983	S58	新	-	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	40		
15	607	西住小学校	体育館	2		小学校	体育館	S	2	829	1984	S59	新	-	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	40		
16	623	東船岡小学校	校舎	1		小学校	校舎	RC	2	3,816	1988	S63	新	-	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	C	29		
17	623	東船岡小学校	体育館	2		小学校	体育館	S	2	1,119	1988	S63	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	53		
18	3605	船岡中学校	普通教室棟	1,2,3		中学校	校舎	RC	3	3,585	1968	S43	旧	済	-	H12	21	-	長寿命	B	A	B	C	D	70	
19	3605	船岡中学校	特別教室棟	4,5		中学校	校舎	RC	2	1,606	1969	S44	旧	済	-	H12	21	-	長寿命	C	A	A	D	D	72	
20	3605	船岡中学校	体育館	20		中学校	体育館	S	2	1,847	2011	H23	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100		
21	3605	船岡中学校	武道場	16		中学校	武道場	S	1	540	1985	S60	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	C	66		
22	3604	榎木中学校	校舎	15		中学校	校舎	RC	2	4,675	2013	H25	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100		
23	3604	榎木中学校	体育館	11		中学校	体育館	S	2	1,396	1991	H3	新	-	-	-	-	-	長寿命	C	B	C	B	59		
24	3604	榎木中学校	西校舎,武道場	10		中学校	武道場	RC	2	1,049	1986	S61	新	-	-	-	-	-	改築	D	B	B	B	70		
25	3786	船迫中学校	校舎	1		中学校	校舎	RC	3	4,621	1987	S62	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77		
26	3786	船迫中学校	体育館	2		中学校	体育館	S	2	1,237	1987	S62	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	70		
27	3786	船迫中学校	武道場	5		中学校	武道場	S	1	540	1989	H元	新	-	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75		
28	6790	第一幼稚園	園舎	1		幼稚園	園舎	W	1	494	1989	H元	新	-	-	-	-	-	改築	B	B	C	C	66		
29	K031	給食センター	給食センター	1		給食センター	給食センター	RC	2	1,372	1981	S66	旧	済	-	H12	21	-	改築	D	D	C	D	14		

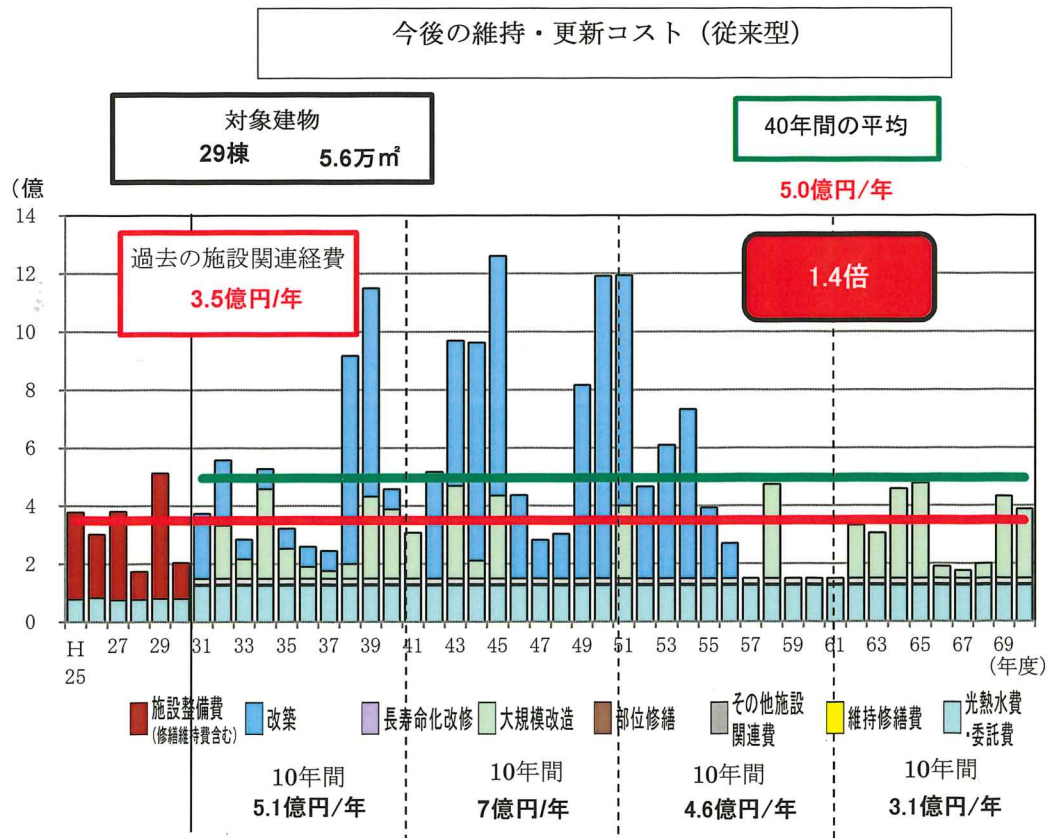
(2) 今後の維持・更新コストの把握

前ページの建物情報一覧表（施設毎の詳細は「柴田町学校等施設の個別計画 資料編」に掲載）は、対象建物の基本情報、構造躯体の健全性、躯体以外の劣化状況を一覧表として整理したものです。これにより、長寿命化改修に適さない建物、劣化が進んでいる建物などを抽出しました。

また、躯体以外の劣化状況については、5つの部位の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の劣化状況の評価を建物ごとに集計することで、現時点での当該建物の健全度を相対的に示す指標が算出されます。健全度の読み取り方は、①40点未満なら優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましい。②健全度の点数にかかわらず、C、D評価の部位は、修繕・改修が必要。というように優先的に改修する建物の順位付けを行う際に参考にすることができます。

診断の結果、健全度40点未満の施設は、東船岡小学校 校舎（29点）、給食センター（14点）となっております。続いて、西住小学校の校舎及び体育館が40点となり、長寿命化改修等の対策を講じることが望ましい結果になりました。その他、健全度の点数にかかわらず、C、D評価の部位を見てみると、船岡小学校の体育館、槻木小学校・柴田小学校の校舎及び体育館等、修繕・改修が必要という結果になりました。

また、計画対象の学校等施設は、築30年以上の建物がほとんどで老朽化は特に進んでいます。また、10年後には80%が老朽化すると予想されます。



(3) 直近5年間における個別施設の整備計画

① 整備計画

建物情報一覧表の「構造躯体の健全性」や「劣化状況評価」などを参考に個別施設の整備の優先順位を検討し、また、教育委員会の予算状況を踏まえて直近5年間における個別施設の整備計画を作成し、各事業を実施する学校名及び国庫補助額を含む総事業費を年度毎に作成しました。

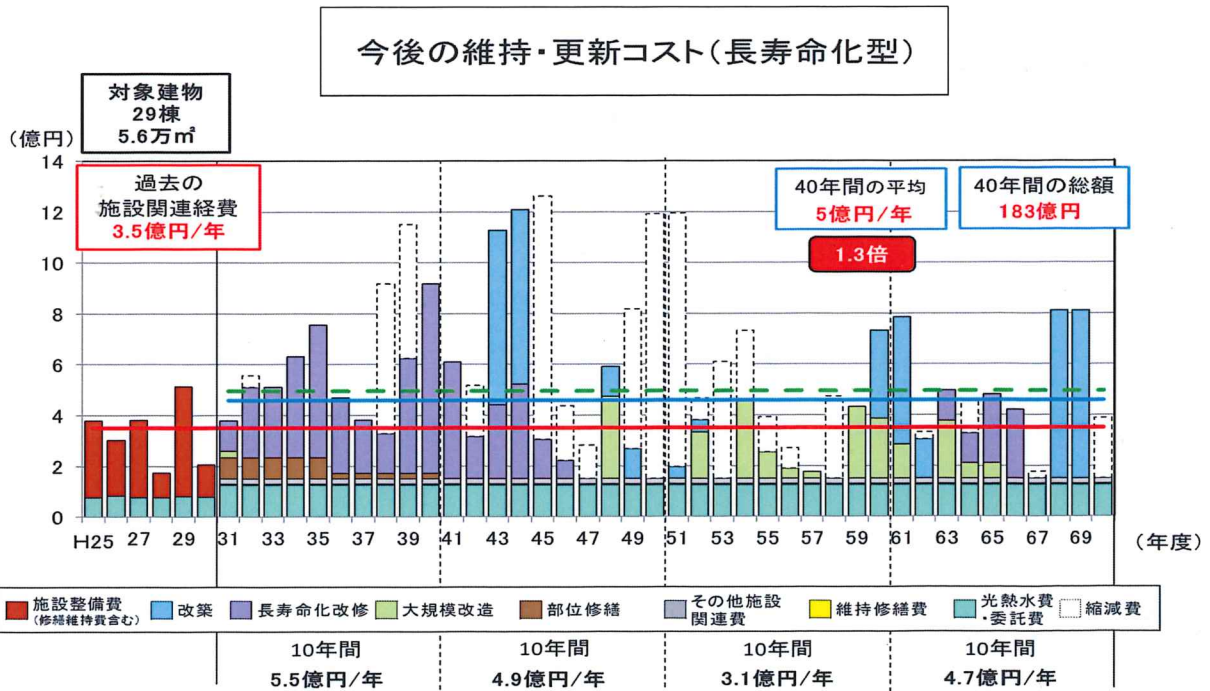
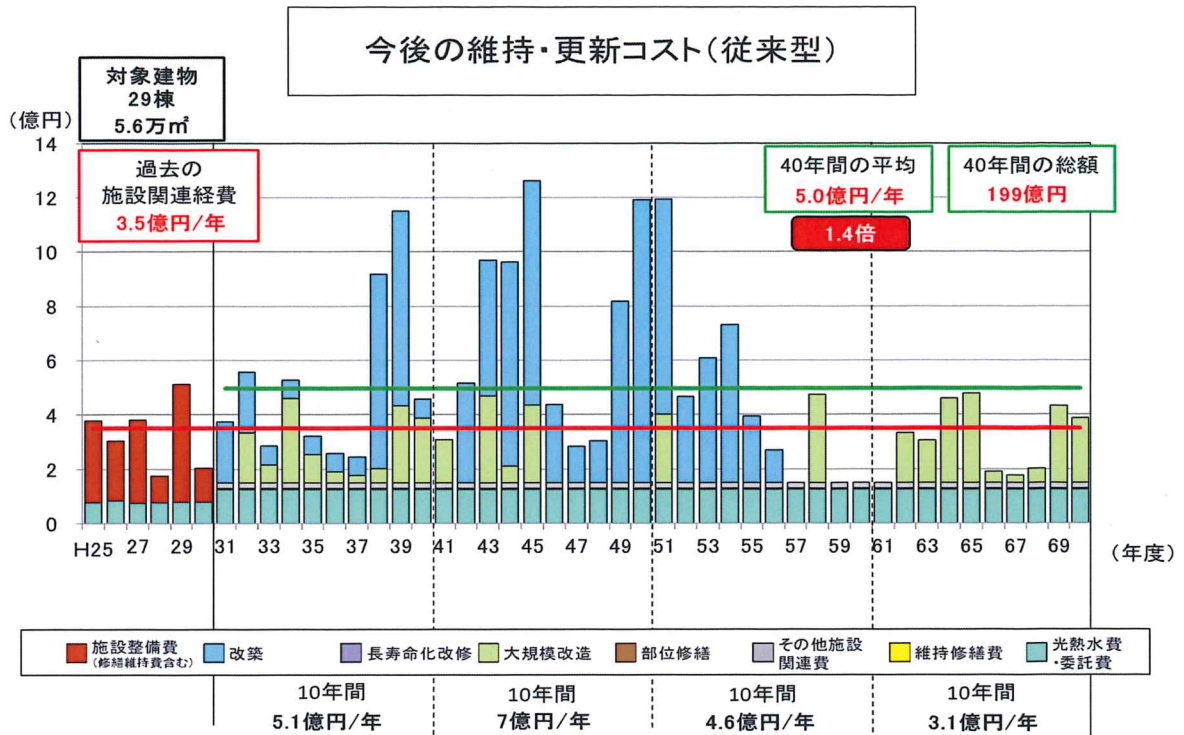
② 対象事業に対する考え方

	事業概要	対象となる事業
施設整備費	新增築事業	統廃合や分離新設校新築、増築事業等が該当する。
	改築事業	危険改築、不適格改築等が該当する。
	耐震化事業	防災機能強化事業（非構造部材の耐震化のみ）、耐震補強、大規模改造（補強）等が該当する。
	長寿命化改良事業	長寿命化改良事業が該当する。
	大規模改造（老朽）	大規模改造（老朽）が該当する。
	防災関連事業	防災機能強化事業（非構造部材の耐震化を除く）が該当する。
	トイレの整備	大規模改造（トイレ）が該当する。
	空調の整備	大規模改造（空調）が該当する。
	障害児等の対策	大規模改造（障害）が該当する。
	特別支援学校の整備	特別支援学校の新築、改築、改修等が該当する。
	部位修繕	建物情報一覧表のC及びD評価等、部分的に優先度の高い事業が該当する。
その他の施設整備		プール、グラウンド等、上記の施設整備費に含まれない整備費が該当する。

③直近5年間における個別施設の整備スケジュール

事業名称	2019		2020		2021		2022		2023	
	H31		R2		R3		R4		R5	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
新増築事業										
改築事業							給食センター基本設計	25	給食センター実施設計	35
耐震化事業 (非構造部材の対策含む)										
長寿命化改修								槻木小		800
大規模改造(老朽)	東船岡小(校舎・I期)	200	東船岡小(校舎・II期)	200			槻木中(西校舎)	200		
	東船岡小(屋体・I期)	15	東船岡小(屋体・II期)	45						
	柴田小(校舎)	200								
	西住小(校舎)	200								
	船迫中(校舎)	200								
防災関連事業					小中屋体照明 (船岡小・槻木小・柴田小・槻木中・船迫中)	75				
トイレ整備	小中7校	198			中学校屋体(武道場) (船岡中・船迫中)	12				
空調整備	小中9校	733								
障害児等対策										
特別支援学校の整備										
部位修繕										
その他施設整備費	小中LAN 小中LED	38 51	東船岡小プール改修	130	西住小プール改修	100	柴田小プール改修	100		
維持修繕費										
光熱水費・委託費										
合計		1,835		375		187		325		835
財政制約										
差額		-1,835		-375		-187		-325		-835

(4) 長寿命化によるコスト及び効果の見通し



【6】長寿命化等計画の実施方針

(1) 情報基盤の整備と活用

公共施設保全計画システム9を活用して、施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営経費、工事履歴や劣化情報を一元管理していきます。

(2) 推進体制等の整備

学校等施設の所管課である教育委員会教育総務課を中心に、本計画を含む学校等施設のマネジメントを行っていきませんが、必要に応じて（仮称）公共施設検討委員会等を活用して、全庁的な体制で対応を図っていきます。

また、日常の施設管理の質を向上するため、日々の巡回点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図っていきます。

(3) フォローアップの実施

本計画は、学校等施設の改修の優先順位を設定するものであり、柴田町総合計画の中で年次及び個別の事業費を精査していきます。また、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映して本計画は見直しを図るものとします。

